令和５年度　校内研修計画

山梨市立　後屋敷小学校

１　学校課題

本校は，ICT端末が導入され，授業での積極的な活用が図られてきた。１年生から６年生までが発達段階に応じてICT端末を活用し，1年次の研究ではICT端末などのICT機器を積極的に使った授業に取り組んできた。2年次の研究では，ICT端末を使った学び合いの方法について探ってきた。しかし，一昨年度までのICT活用の習熟度は、学年・学級によって差が出てきてしまっている現状が見受けられる。そこで昨年度ICTスキル研究部会では，各ブロックの目安となる「目標とする技能表」を作成したり，支援ソフト活用例をまとめたりすることで，今年度以降後屋敷小学校として習得するスキルの目安となるものを作成した。それぞれの教職員が目標として意識し，各授業の中で着実に指導をしていき，児童が発達段階に応じてICT端末を活用できるようなスキルを身につけられるようにしていく必要がある。

２　研究主題

児童が主体的・協働的に学ぶ授業を目指して（３年次）

～ICTを効果的に活用した授業実践～

３　主題設定の理由

　　１年生から６年生までが発達段階に応じてICT端末を活用し，1年次にはICT端末などのICT機器を積極的に使った授業に取り組んできた。実物投影機を使い，ノートやワークシートなどを見あったり，電子ホワイトボードを使って意見の交流をしたり，大型モニターなどを使い情報を提示したり，様々な場面で活用してきた。2年次は，ICT端末を使った学び合いの方法について探ってきた。ICT端末を使って意見を可視化したり，情報を共有したり，コメント機能などを使って疑問点や良い点を伝え合ったりする活動に取り組んだ。また，学び合いの場面だけでなく，情報を集めたり，情報を保存したり，児童総会や６年生を送る会などの時にオンラインで行うために活用したり，学校生活の様々な場面でICT端末を使ってきた。

ICT端末が導入され今年で3年目を迎え，学校生活でICT端末を活用していくことは当たり前となりつつある。それぞれの教科や学習場面にあった方法でICT端末を活用していくことに数多く取り組むことで，子どもたちが主体的に学習に取り組めるようまた交流し学び合えるような姿を目指し，授業を構成していきたい。

４　研究の具体的内容と方法

（１）児童の実態分析と指導法の改善

　　　　全学調の結果分析から，本校児童の実態把握をし, 授業づくりの視点や指導法の共通理解　を図る。

（２）授業研究

　　　　授業研究による検証。

（３）一人一実践の公開授業

 　　 一人一実践を公開し，授業改善と授業力の向上を図る。

（４）今日的教育課題関連の学習会

　　　特別支援教育についての学習会

　Google　educationについての学習会

（５）教育課程説明会の環流報告

５　年間研修計画

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 月 | 日 | 曜 | 回 | 主な内容 |  |
| ４ | 12 | 水 | 第１回 | 研究の方向性・全体計画について | 全体 |
| 24 | 月 | 第２回 | 全体計画について | 全体 |
| ５ | 25 | 水 | 第3回 | 校内学習会① | 全体 |
| ６ | 7 | 水 | 第4回 | 特別支援学習会 | 全体 |
| 21 | 水 | 第5回 | 校内学習会② | 全体 |
| ７ | 5 | 水 | 第６回 | 外部講師による学習会 | 全体 |
| ８ | 21 | 月 | 第７回 | 教育課程環流報告・研究授業について | 全体 |
| ９ | 6 | 水 | 第８回 | 一人一実践・全国学力学習状況踏査について | 全体 |
| 13 | 水 | 第９回 | 研究授業指導案検討① | 全体 |
| 10 | 4 | 水 | 第10回 | 校内学習会③ | 全体 |
| 11 | 水 | 第11回 | 研究授業指導案検討② | 全体 |
| 25 | 水 | 第12回 | 一人一実践報告会Ⅰ | 全体 |
| 11 | 1 | 水 | 第13回 | 研究授業か校内学習会④ | 全体 |
| 8 | 水 | 第14回 | 研究授業か校内学習会④ | 全体 |
| 29 | 水 | 第15回 | 一人一実践報告会Ⅱ | 全体 |
| １ | 17 | 水 | 第16回 | 一人一実践報告会Ⅲ | 全体 |
| ２ | 7 | 水 | 第17回 | 研究紀要について | 全体 |
| 21 | 水 | 第18回 | まとめ | 全体 |

（研究主任　岩下亜希子）